

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	葬祭費事業			会計	款	項	目	大	小
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	保険年金課				
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	今野 忠光				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市国民健康保険被保険者が死亡した際の葬祭執行者	意図	葬祭執行者の経済的負担の軽減を図る。
事業内容	流山市国民健康保険被保険者が死亡した場合、葬祭執行者に対し葬祭費の支給を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	国民健康保険は、被保険者の疾病、負傷、出産または死亡に関して、必要な保険給付を行うものとされている。葬祭費については条例でその支給額が定められており、死亡した被保険者の葬祭を行った方に支給することとされている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	支給件数	223	226	215	件	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
被保険者の死亡により、当該被保険者の葬祭を行った方に対し、葬祭費として50,000円を支給する。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	12,317,050	12,441,040	11,870,640
事業費(b)(円)	11,150,000	11,300,000	10,750,000
うち一般財源	11,150,000	11,300,000	10,750,000
職員給与費(c)(円)	1,167,050	1,141,040	1,120,640
人役・職員(人)	0.17	0.17	0.17
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	適正な葬祭費支給	③取組における課題(Check)	葬祭費支給事務の円滑化
②H30に実施した取組(Do)	職員への給付システムの周知	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	葬祭費支給手続きの簡素化